

事務事業名		大東町地域福祉センター管理事業		所属部	大東総合センター	所属課	市民福祉課
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	福祉G	課長名	荒木 尚美
	施策名	(25)地域福祉の充実		担当者名	若槻 美穂	電話番号	0854-43-8162
	目的:対象	市民	意図	地域で支えあう意識を高め、福祉活動を実践する。		(内線)	4001
	基本事業名	(075)支え合う地域づくり		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	社会福祉施設管理事業	
目的:対象	市民	意図	地域で支え合う体制をつくる。		項 目 中事業 中事業名	大東町地域福祉センター管理事業	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・指定管理による管理・運営、貸館業務を実施。 ・指定管理期間は平成30年度から令和2年度。 ・指定管理者は雲南市社会福祉協議会。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動) ・指定管理団体への施設管理に関する監督・指導及び指定管理料の支払い。 ・計画的な施設設備の更新及び修繕。 ・指定管理更新業務。	元年度計画(元年度に計画する主な活動) ・指定管理団体への施設管理に関する監督・指導及び指定管理料の支払い。 ・計画的な施設設備の更新及び修繕。				
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	ア 監督指導回数	回	4	4	4	4
	イ					
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	①施設利用者(貸館、デイサービス等) ②大東町地域福祉センター	ア デイサービス利用者	人	7,400	7,250	6,892	6,800
		イ 貸館利用者数	人	2,254	1,639	990	900
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
①安心安全に利用出来る ②適正に維持管理する	ア 苦情処理件数	件	0	0	0	0	
	イ 施設利用による事故発生件数	件	0	0	0	0	
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)	
指定管理料; 11,920千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	6,298	6,278	6,870	6,900
		一般財源	千円	4,370	4,390	5,050	5,130
	事業費計(A)	千円	10,668	10,668	11,920	12,030	
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1		
	延べ業務時間	時間	24	24	24		
	人件費計(B)	千円	95	98	104		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	10,763	10,766	12,024		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
毎年4~5件程度の修繕を行っている。建設から20年経過し耐用年数の問題もあるため、今後は計画的に更新工事や補修工事等を行っていく必要がある。	・平成18年度から指定管理を行っている。 ・指定管理者から施設内の修繕要望があり計画的に行っている。	指定管理者から築後20年経過し施設内の修繕要望がある。

事務事業名	大東町地域福祉センター管理事業	所属部	大東総合センター	所属課	市民福祉課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 施設を適正に管理しており、安心安全に利用できている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 施設には、介護保険通所介護事業所(デイサービス)、障がい者共同作業所、大東図書館があり広く市民に利用されているため施設の廃止・休止した場合は福祉活動等に影響を与える。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	(具体的な手段や類似事業名) 理由 高齢者・障がい者が利用する地域福祉の拠点施設である。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 指定管理施設である。管理・運営・貸館業務は指定管理者として雲南市社会福祉協議会が行っている。大東図書館の運営業務は(株)キラキラ雲南が業務委託として行っている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 必要最小限の業務時間である。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 誰でも利用できる施設であり公平公正である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適正に管理できた。 今後も地域福祉の拠点施設として必要な補修をしながら、地域福祉の維持向上を図る必要がある。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持低下	●	×			×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持低下	●	×																	
		×	×																	
地域福祉の拠点として施設を維持し、その管理方法として指定管理は引き続き行う。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			